

■ 標準仕様

名 称	Claytex MOTO	Claytex SAI	Claytex WARA
主成分	土、珪砂6号、藁スサ、 カオチン樹脂(水性アクリル)	土、珪砂6号、藁スサ、 カオチン樹脂(水性アクリル)	土、藁スサ、 カオチン樹脂(水性アクリル)
正味質量	8.5kg/袋 エマルジョン6kg	10kg/袋 エマルジョン6kg	4.5kg/袋 エマルジョン6kg
使用 方法	標準使用量	8.5kg/約7.6㎡	4.5kg/約4㎡
	可使時間	6時間	6時間
標準色	5色	5色	5色
標準塗厚	2mm	2mm	2mm

■ 適用下地

●MDF合板(木下地)

施工後のクラックを防止する為にも、MDF合板の上から塗り付けるのであれば、30mm以上の厚みが必要です。30mm以下であれば、板を2層重ね貼りして、継ぎ目が重ならないよう下地に木材等を入れるなどして補強し、動きにくい下地を確保して下さい。

●石膏ボード

- ・木造下地…JASS15左官工事に準拠する。
ボード周辺部10cmピッチ程度、受け木部15cmピッチ程度で釘及びビス止めします。
- ・コンクリート躯体…(社団法人)石膏ボード工業会、
“せっこうボード直張り工法”標準仕様書に準拠する。

●石膏プaster、中塗土などの中性下地

●石膏ボード

●古壁…繊維壁、砂壁、聚楽壁など ※メクリ後の施工となります。

【内壁全般】

ボード用ビス・ビス・釘はステンレス製のものをご使用下さい。
粗悪なビス、釘を使用した場合、メッキが腐食し白いサビが
仕上材表面に出てくる場合がありますので、ご注意下さい。

■ 施工上の注意

- ・下地は充分乾燥させて下さい。
- ・日除けや風養生をして、急激な乾燥を避けて下さい。
- ・釘の頭やサビの出る恐れのある箇所には、
サビ止め処理を行ってから施工して下さい。
- ・水量に注意して下さい。水量の入れ過ぎは厚み調整や、
ムラ直しがしにくく、ダレの原因になります。
- ・標準塗厚を必ず守って下さい。
- ・同一面の塗り継は避けて下さい。色違いの原因になります。
- ・器具、道具類は使用後直ちに水洗いして下さい。
- ・脆弱な下地がある際は補強などを行って下さい。
- ・水にぬれやすい箇所、傷がつきやすい箇所にはトップコートを塗布して下さい。
- ・自然素材のため施工条件によって色むらがおきる事があります。
- ・本製品は自然の土を使うためサンプルと色が異なる場合があります。
必ず色見本を製作した後に施工して下さい。

■ 性能試験項目 (Claytex MOTO)

JIS A 6909 建築用仕上塗材の内装薄塗材W試験法による

試験項目	成 績	判定基準
初期乾燥によるひび割れ抵抗性	合 格	ひび割れがないこと
付着強さ N/mm ²	0.5	0.2 N/mm ² 以上
耐摩耗性	合 格	剥がれ及び摩耗による基盤の露出がないこと
耐変退色性	表面状態	異常なし
	グレースケール(号)	4~5

※上記数値は試験サンプルの代表値です。保証値ではありません。

NO ホルムアルデヒド

一切使用していません。

Claytexは、基本技術講習を受講した施工認定者のみが施工するライセンス制度により使用できる仕上塗材です。

厚さが10mm以上の壁土は不燃材料です。

■ 練り方/1袋の場合

- ①きれいな容器に規定量の専用エマルジョン8割とClaytexを入れ
ハンドミキサーで攪拌します。(10分程度)
※一度にすべてのエマルジョンを入れすぎるとダマになりやすいので
注意して下さい。
- ②約10分練りおきます。
- ③残りの専用エマルジョンを徐々に加え硬さを調整します。

■ 施工手順

※パテ材で目地(継ぎ目)処理後、充分乾燥させてから全面塗りを行ってください。乾燥前に追っかけて全面塗りを行うと目地(継ぎ目)部がやせる恐れがあります。
※不陸、段違いがある場合は、2度塗りして下さい。
※専用下塗り材を塗って下さい。

①下地処理下塗り

施行箇所の下地に不具合が無いか確認して下さい。下地が動くと割れや仕上げに影響します。
ジョイントがある場合はファイバーテープを貼り下塗り材で処理して下さい。
下地処理後全面に下塗りを行なって下さい。

②上塗り

下塗り完全乾燥後に仕上げ材を塗っていきます。原則追っかけ2回塗りで作業を行って下さい。
砂やスサが転ばない程度、下地へ擦り付ける様に塗り、追っかけて仕上げの層を塗ります。

③研磨

研ぎ出す場合は夏場で1日、冬場で2日養生してから研ぐ様にして下さい。
キャピタルサンダーの80番から全体にムラなく研ぎます。

④保護塗布

埃を綺麗に取り、保護材を塗ります。ムラにならない様に留意し塗布して下さい。

